

「手々小中学校のむちたぼり伝承活動の取組」

1 学校名

徳之島町立手々小中学校

2 学年・人数

小学2年生～中学3年生（計8人）

3 日時・場所

(1) 練習の日時・場所

令和3年6月24日 音楽室 総合的な学習

令和4年1月17日 音楽室 総合的な学習

(2) 発表の日時・場所

令和3年6月28日 第1回われんきゃガイド（手々区内）

令和4年1月20日 第2回われんきゃガイド（手々区内）

4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能、伝統行事や史跡について

(1) 名称

むちたぼり

(2) 由来

手々区では、お盆の時期にむちたぼり（町指定無形民俗文化財）という祭を行います。むちは「餅」、たぼりは「給れ」で、その起源ははっきりしませんが、数百年続いている行事です。

(3) 構成等

男性が白い布をかぶって顔を隠し、アンゴーと呼ばれる女性の格好をします。独特な雰囲気を持ち、扇子と棒を持って、三味線と太鼓のリズムに乗りながらゆったりと大きく踊ります。女性は浴衣に手ぬぐいをかぶって手踊りをします。

5 保存会や地域との連携の具体

毎年、9月に手々区の老人会の方々に、ふれ合い学習の中で、踊り等を教えていただいています。また、8月上旬には祭りに向けて、区全体で練習を行っています。（今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止）

6 文化財伝承・活用の工夫した点

徳之島にトリアスロンや実業団の合宿で訪れる方々を対象に、われんきゃガイド（町歩きガイド）を年2回ほど実施しており、その中で歓迎の意味を込め、むちたぼりを披露しています。

7 取組の様子（練習状況，発表の場等）



われんきゃガイドのムチタボリ披露

8 参加児童生徒・保護者・保存会・教職員等の感想・意見

【児童】

参加者の方々にたくさん激励の声をかけていただき，とても励みになった。

【参加者】

手々区の文化と伝統が分かったので勉強になった。これからも続けてほしい。
来年度も参加したい。

【地域の方から】

踊った子供たちが，次の世代に伝えていくきっかけになったらと思う。